

リフレクションカード 2016年度前期

学科	保育科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
キリスト教学Ⅰ	1	前期	必修	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本講義は、キリスト教の必須科目として「感恩奉仕の土台」を身につけることが目的なので、授業ではキリスト教の基礎を体験的に習得できるよう、祈りや自ら聖書を読むこと、紙芝居や絵本の読み聞かせ、ディスカッションなどを取り入れた。また、授業以外のチャペルの参加や、教会訪問などを評価に取り入れ、授業外でキリスト教に触れる体験の機会を設けた。</p> <p>毎回の授業の最後に記入するポートフォリオでの学びの確認だけでなく、昨年度より導入したBible Noteを活用し、チャペルの応答カードをBible Noteに添付して提出することによって、チャペルでの体験的な学びの全体像をみることができるようになった。</p> <p>建学の精神の土台を習得していくため、日常的に聖書を読む事を推奨し、授業外で聖書を読んだ時のコメントをBibleNoteに記入することによって、予習・復習の課題を具体的に提示している。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの結果より、知識理解に関しては3.8ポイントであった。トータルの成績の平均値は約80%以上。チャペルの出席率約80%以上とコメントカードの内容、教会訪問の出席率約90%以上と感想文の内容から、感恩奉仕の価値観を学び、聖書の視点を知り、キリスト教の源泉に触れるという、教育目標はやや達成されたと言えよう。キリスト教学Ⅰはキリスト教の導入なので、今後、キリスト教学Ⅱの中で、Ⅰで学んだ知識をもとに、発展させていくような展開が必要とされる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>① CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみても内容的妥当性 本科目は本学の要となるキリスト教を学ぶ「必修」科目である。しかし、初めから興味を持って受講する学生はわずかである。キリスト教に全く興味のない学生も受講しているため、動機付けに工夫が必要であるが、全体的に一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>② DP、行動目標からみても内容的妥当性 感恩奉仕の価値観を学び、聖書の視点を知り、キリスト教の源泉に触れるという、行動目標に沿い、学問としての聖書の講義とアクティブラーニングの学びの他、チャペル出席、教会出席、等を行い、授業内で学ぶ事の出来ないキリスト教の源泉に触れるなど、内容的には妥当であったと考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

昨年より導入したBible Note活用を、キリスト教学Ⅱへの橋渡し役として推奨した。今年度は昨年の反省を踏まえ、キリスト教学Ⅱに引き継いで使用するものとして、基礎知識を十分に記述すること、チャペルのコメントカードを貼付け、自らの学びを見直すことなどを、徹底して指導した。本講義は、興味のない学生にも興味をもってもらうことが重要である。授業の質評価において、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が3.8であったが、引き続き、アクティブラーニングの手法を工夫しつつ、学生たちが自ら聖書を開いて、日常生活に応用できるような仕組みを作りたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

必修科目の位置づけであり、本学の要となる「感恩奉仕」の土台を学ぶ科目であるため、元々キリスト教に関心や興味のない学生たちにも主体的に学習してもらうための工夫が必要である。受け身的に知識を得るだけでなく、学生が興味を抱いたテーマについて取り上げてディスカッションを行うことや、絵本・紙芝居の読み聞かせを学生自らが実践することなどを入れ、授業を造り上げる一員としての自覚を養うように促している。授業の最後に記入して振り返りを行うポートフォリオやチャペル出席・教会訪問に加え、それらの学びをひとつのノートに記録できるよう、昨年からはBible Noteの作成を始めた。今年の新試みは、このNoteに、毎回のチャペルで配布される「チャペル応答カード」を貼付けるように指導したことであり、これによって、前期のチャペルでの学びの全体像が見えるようになった。今後も、更なるBible Noteの活用を工夫し、キリスト教学の学びを多角的に深められるような指導をしていきたいと考えている。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	保育科
氏名	大黒 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
心理学 I	1	前期	選択	いいえ	88

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①1年生の場合、大学の講義に慣れるまでにやや時間を必要とする。生徒の中には集中力を欠く者もいるため、念入りなオリエンテーションと受講にあたっての注意を理解させなければならない。また、心理学は専門用語が多く理解が難しい場合もある。そのような問題を解消するために、基礎的な心理学と我々の日常に関わる事柄と関連づけて関心を引きつけるようにしている。</p> <p>②SNSやマスメディアを利用して、最近の保育に関する社会的問題（例えば、児童虐待など）の情報を集めるようにしている。</p> <p>③8コマ目にノート提出、10コマ目に期末試験に関する模擬試験を行い、学生の復習への意識を高め、学習状況を確認するようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された				
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>学習到達度自己評価については、多くの生徒が③以上の評定をしていた。このことから、自己評価ではあるが、科目の学習について到達目標は達成していたと感ぜられる。また、自由記述の意見としては、「分かりやすく面白いです。」という評価をもらった。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は必須の講義ではないため、動機付けに苦慮する面がある。ただ、心理学的視点を持って子供に接することは、保育の仕事において重要と考えられるため、講義内容に応えるように工夫しなければならない。と考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

基礎的な心理学は理解が難しいが、日常生活と心理学をつなげた講義をすることによって、学生の理解力が上がったと感じられる。また、こちらが一方的に抗議するだけではなく、学生に積極的に発言させたことはとても良かったと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

いつもは、心理学1の講義では学生も高校を卒業したばかりということで落ち着かないことが多いが、今期の講義では、学生も真剣に心理学の講義に取り組んでくれた。欠席者も少なく、出席日数が足りずに試験を受けられない生徒もいなかった。定期試験についても、再試験を受けた学生もほとんどおらず、心理学の基礎的な知識は備わったと考えられる。保育の仕事において、心理学的な視点を思っって子供に接するのはとても重要である。そのためには応用的に心理学を学ばなければならないため、心理学1と2は通年で学習できる体制が望ましいと考えられる。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	保育科
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
文学 I	1	前期	選択	はい	61

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>まず、「文学とは何か」という事を明確にすることからスタートし、その概要について解明するにあたって、次の工夫を試みている。例えば、保育科の学生が、日頃、他の講義で学ぶ内容に接点や関連をもたせながら、講義を進めている。他の講義と自身の目指す専門性の接点が日常生活の中で絶妙なバランスをもって学びの域に達するように、である。文学を通して、もう一度、自分の生きてきた道をフィードバックすることにより、将来の職に就くために求められる大切な知識、意識、を理解させるべく、基礎能力を養うことに力を注いだ。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
<p>15回の講義内容において、1回1回の学生の反応は決して一律ではなく、ムラが見受けられる。関心のある項目については80%から85%の学生が熱心に聴いているが、解釈に範疇になると、…所謂味わうという段階になると、忽ちにして表現法に困る学生もいる。しかし、考えようによっては、それは、とりもなおさず、同時に学生自身の自己評価につながるもので、不得意部分を意識して向上することにもつながってゆくように思われる。感想文などの提出、図書館の利用によって、活字に触れて、学生の内的精神性を高めることに力を注いだ。時間を要したが、実力アップの方法を習得した学生は少しずつ確実に実力をつけていったように感じる。学習の方法及び、読書の味わい方のコツを昨年に増して講義に取り入れているので、昨年よりは進化していると思われる。</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目の位置づけから見た内容的妥当性については、70%は活かされていると思われる。ただ、あくまでも一般教育科目であるので、専門科目との接点には今以上、今後も気を付けなければならないと感じている。例えば、言葉の認識と言語的フィルターの関係性・ベストセラー小説の意味するもの・文学と職業観・文学と愛・・・など生きてゆくことの諸問題について考察し、それが具体的に自身とどう関係するかを、学生自身の言葉で表現できる実力が生まれてこそ、位置づけの完成と考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

上質な文学に触れさせるためにも今以上に様々な問題提起をして、図書館を活用するよう、促してゆきたいと考えている。授業中、特に1年生の熱心さ、活発さは年々上昇しているので、授業の進め方は、講義形式にしたいと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

達成状況の総括的評価としては、75%である。今後は、学生一人ひとりの実力が克明に評価できる方法を試案したいと考えている。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	保育科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
人間と文化 I	1	前期	選択	はい	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考に記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>初めて担当する科目であったが、授業内容に関心のある学生が多いことから、少人数のグループで学びを深めることが可能となった。現在、短期大学部においては、キリスト教以外の思想の源流に触れる事が少ない事もあり、西洋と東洋の神話から初め世界の宗教や思想について調べ、比較文化の学びの集大成としては冠婚葬祭についてグループで調査し発表することを取り入れた。また、アクティブラーニングの一貫として、思想別のティーセレモニーを実践する場面をもうけ、学生たちの学びへの意欲が停滞しないような工夫をした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの結果をみると、知識理解・思考判断・意欲関心については3.6ポイントであり、到達度自己評価の平均値は3.5ポイントであった。授業の質評価においても平均が3.5ポイントであったところを見ると、学生たちの満足度が高かったことが伺える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>① CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は一般教養科目としての位置づけである。興味を持って受講する学生の学ぶ意欲に十分に答えられるように、学生の興味・関心に寄り添いながら発表するテーマを定めるような配慮をし、個人ワークのみならず全員または小グループで学ぶ機会を多くもうけ、共に学び合う体制作りを行った。学習到達度の自己評価の平均値は3.5ポイントで、(4)学生の参加に関しては4.0ポイントであったため、内容としては妥当であったと言える。</p> <p>② DP、行動目標からみでの内容的妥当性 文明を形創った主要な思想の流れである神話を読み、異文化理解の視点を養うことができるという行動目標、また、世界の慣行を知ることを通し、異文化に対し関心を持つことができる、といういずれの行動目標について、それることなく調査・発表を行い、到達度の自己評価の平均値が3.5ポイントであることと、発表やレポートの成績も好成績を残していることから、内容的には妥当であったと考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生の調査・発表の割合が多かったため、授業時間外での学生の学びの時間が多く、図書館やパソコンもよく利用して学ぶことができた。
今回は全体的に広く浅く世界を旅するような教養をつける形となったが、今後は、広い教養を追求しつつも、ある一つの思想について深く追求していくような深みのある内容も検討している。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

初めて担当する科目であったが、生活創造学科と保育科の学生が、学科を越えてグループを作り、共に学びあえたことは大きな収穫であった。
学生たちは、自らの興味にそって調査できる体制であったため、毎回の授業に意欲的に取り組み、それぞれの発表についてもよく質疑応答ができるような活発な授業展開であった。総括して、一般教養科目として良いスタートをきったと言える。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	保育科
氏名	清末 達人

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
生理学	1	前期	選択	はい	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この科目は、細胞の機能から始まって、生命体維持の基本となる主要臓器の働きについて学ぶ学問であるが、最初に対人関係の基礎となる人間の思考に焦点をあてて、神経系の働きについて学習した。特に、対象を認識するための感覚器の働き、中枢での情報の統合、運動神経による骨格筋の制御の仕組みなどに重点をおいた授業計画を立案し、日常生活における神経系や筋肉系についての基本的な事柄について理解が深まるように配慮した。その後、高等学校で学んだ、生物基礎の知識とも連動する血液や腎臓の機能についての学習に移った。毎回の学習項目に関連深いビデオ映像を鑑賞することで、生理学に関する興味を持ってもらえるように努めるなど、学生の興味が途切れないように配慮したつもりである。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			

<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートにおいて、「自分なりの目標を達成したか」という問いに対して、全員が「まあまあそうだと思う」以上の肯定的な回答を行っている。また、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができたか」、という問いに対しても肯定的回答が多く、この科目で意図した教育目標は、ほぼ達成できたのではないかと考えられる。</p> <p>DVDを鑑賞して、その感想文を提出してもらい、成績評価を行ったが、多くの学生がDVDのテーマに興味をひかれ真面目に感想文に取り組んだことがうかがわれた。自由意見に、「DVDなどで分かりやすく説明してくれた」ので良かったという意見があったのは心強く感じた。</p>
--	--

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>授業動機が一番多かったのは、単位数の確保という点であり、試験を実施しない科目であるから受講したという面が大きかったのかなと感じている。保育科で生理学を学ぶ動機としては、医学の初歩を理解して病気と健康についての基本的な考え方を身に付けるというものであってほしいという教える立場からの希望と、必ずしもそぐわなかったのではと反省している。自分が学ぼうとしている専門分野について学ぼうとする意欲と高めるような授業ではないかったという評価は重く受け止めたい。来年度は、幼児期の精神の発達というテーマにもっと絞った内容を多く取り入れるつもりである。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

教師の側がすべてお膳立てして知識を植え付けるというやり方のほかに、一部にPBLのやり方を取り入れ、自分で課題を解決する形式の授業にした。現状では、学生は自分で考えるというよりも、受け身に終始していることが、授業の課題以外に学習にとりくんでいないという授業評価からわかる。次年度からは、授業方法の見直しを行いたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

限られた授業時間内に、人体のすべての臓器についての基本的事項を講義することは不可能であり、学生が興味を持っていると思われる事柄をなるべく取り上げるように努めたが、すべての内容が、必ずしも受講生にとって興味を引く事柄ではなかったかも知れない。6人中2人が、自分の専門分野の課題とあまり関係がないと評価しているのは残念な点である。来年度は、保育科学生のニーズをできるだけ汲み取った授業内容にしたいと考えている。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	保育科
氏名	領木 信雄

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
コンピュータ・サイエンス I	1	前期	選択	いいえ	91

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1年生前期の科目であり、数少ない情報系科目のひとつである。操作の説明をする際に、園便りや名簿など保育の現場で作成するものを題材として扱った。操作に不慣れな学生が多いので、作成したものを毎回提出させ、正しくできているか確認して返却した。毎回シートを配布して質問やコメントを回収し、授業が一方向的にならないようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は90点、再試験となったのは1名であった。パソコンの操作について身につけているかどうかを問う2種類の試験を行ったが、多くの学生がほぼ間違えずに出来ており、平均点は高めの値となった。達成状況は良好であると言える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>1. CP・カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性 本科目は一般教育科目の選択科目である。身につけるべき「短期大学士としての教養」を扱う科目として、カリキュラムツリーにおいて「基礎」の段階を担当する科目として、また、幼稚園教諭二種免許を取得するために必要な科目として、内容的に妥当であると考えます。</p> <p>2. DP・行動目標からみた内容的妥当性 DP5「技能・表現」の「保育に必要な基礎技能を身に付けている」について内容的に妥当であると考えます。</p> <p>3. まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」について「少しそうでないと思う」以下を選択した学生が18名いた。身につけるべき技能が多いので授業内でこれに応えるのは難しいと思われる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

課題の提出状況もよく、試験の平均点も高く、達成状況は概ね良好であると言える。操作は得意な学生と苦手な学生とで差が出やすいので、復習のための課題などで調整していきたい。

「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」について「少しそうでないと思う」以下を選択した学生が9名もいた。演習中には巡回し個別に質問を受け付け、毎回シートを配布して質問やコメントを受け付けているにも関わらず、機会が作られていないと思うのは何故なのか、理解できない。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	保育科
氏名	領木 信雄

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
コンピュータ・サイエンスⅡ	2	前期	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>操作の説明をする際に、保育の現場での使用例を説明した。操作に不慣れな学生が多いので、授業中に作業時間を長く確保し、作業しながら遭遇する疑問点をその場でひとつずつ解決できるようにした。毎回シートを配布して質問やコメントを回収し、授業が一方向的にならないようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された					達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	<p>最終的な成績の平均値は89点、再試験となったのは0名であった。実技の試験と課題で評価を行った。平均点は高めの値となったが、評価がDの学生も3名いた。</p> <p>学生による到達度自己評価においては全ての項目で学生が「まあまあそうだと思う」以上を選択しており達成状況は良好であると言える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>1. CP・カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性 本科目は一般教育科目の選択科目である。身につけるべき「短期大学士としての教養」を扱う科目として、カリキュラムツリーにおいて「基礎」の段階を担当する科目として、また、幼稚園教諭二種免許を取得するために必要な科目として、内容的に妥当であると考えられる。</p> <p>2. DP・行動目標からみた内容的妥当性 DP5「技能・表現」の「保育に必要な基礎技能を身に付けている」について内容的に妥当であると考えられる。</p> <p>3. まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価においては全ての項目で「まあまあそうだと思う」以上であった。
演習では学生が作業に想定以上に時間がかかっていたので課題の内容を再検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

課題は全員が提出し、多くの学生が問題なく仕上げていたが、課題の自由度が高いことから、課題の内容について戸惑う学生も見られたので、具体例を多く示してイメージをつかみやすくなるよう、また、制作したものに関して話し合いや発表の機会を設けていくようにしたい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	保育科
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
スポーツ・健康科学概論	1	前期	必修	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は卒業必修科目であるとともに資格取得に必要なため、幼稚園教諭免許、保育士資格のいずれかを希望する学生は全員受講している。対象の学生は1年生（前期）であり、今後資格を取得するために、子どもの健康等を守るためには自己の健康・体力について理解することは大切である。また、大学に入学し生活環境の変化等があり、学生自身の生活習慣の見直しや健康管理の重要性を理解してもらうために、学生の興味のあるダイエットや美容に関連する内容を取り入れた。教室での講義だったが、スポーツ科学実技での体力測定結果や、実際に運動を行うことで運動強度を測定・評価したりして理解が深まるように工夫した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均は84.6点（S-42人、A-21人、B-23人、C-6人）である。半数以上の学生がSまたはAを取得していることから、目標は達成できたと考えている。しかしながら、小テストの得点を見ても60点を下回る学生もいたことから、説明等を丁寧に行い通年で行われているスポーツ科学実技でも健康等について引き続き指導していく必要があると思われる。授業評価アンケート「学習量の評価」では授業中にノートを取ったりして理解できたという意見が聞かれた。また、「授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習」では、運動をするようになったという意見も聞かれた。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「一般教育科目」における「自然科学系」に位置づけられており、卒業必修科目である。また、幼稚園教諭免許（選択必修）、保育士資格（選択必修）の科目でもある。受講学生は資格取得を考えているため、受講の意欲は高い。成績評価をみてもほとんどの学生において現段階での課題はほぼ達成されており、内容的には妥当であったと考えられる。授業評価アンケートでは、分かり易い説明でたくさん学ぶことができ、受講してよかったという意見や、これから生きていく中でとてもためになるものだった。学んだことを実践して生かしていけるようにしたいですという意見も聞かれた。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

教師からの一方的な講義にならないように、グループワークや学生が発言できるような内容で講義を行った。また、理解が深まるように座学だけではなく、実際に運動をしながら測定・評価を行えるようにした。それにより学生が考えて発言・行動する姿が見られたが、発言する学生に偏りがみられたため、すべての学生が発言しやすい環境づくりを検討していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

学生の授業への取り組みや評価結果を見ると、授業の目的は達成されたと考えられる。この講義は教室で行うため、実際の運動や生活習慣に繋げていけるようにスポーツ科学実技等の科目でも指導を行う必要があると思われる。また、授業だけではなく、普段の生活や卒業後も学生が得た知識を生かすことができるような授業展開を心掛けていきたい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	保育科
氏名	大塚 由美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
英語 I	1	前期	選択	いいえ	82

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機は、主に「単位取得のため」が61%と多かったが、「資格取得に必要」と答えた学生が15%いた。授業でも、予習を必ず行って授業に臨む学生たちが授業に貢献してくれた。</p> <p>シラバスに記載された目標は、英語の慣用表現や文法の基礎など、基本的な英語の力を身につけて、簡単な英文を読んだり、作成したりする力を養成することであったので、授業も、単語、読解、英作文の演習等を行い、更にCDを活用して、リスニング力の養成にも努めた。</p> <p>この科目が苦手な学生の中には予習等、授業の準備を余りしない学生もいるので、授業の中で、考えたり発表したりしてもらう時間を意図的に設けた。また学期末試験では授業目標に沿って基本的な英語力を試す問題を作成し、更に試験勉強に取り組むモチベーションを高めるため、試験の範囲を設定した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>専門科目ではないこともあり、受講生の能力に、かなりバラつきがあったため授業の際に苦労した。能力のばらつきは、アンケートから「難しい」と感じた学生がいる一方で、「もっと早く進めて欲しい」と思っていた学生もいることにも表れている。この科目が得意で理解力も高い学生は、発表等を通して授業に貢献してくれて頼もしく思った。また苦手な学生の中にも、理解できている箇所を積極的に発表する等、授業に積極的に取り組もうと努力していた学生たちがいて心から応援したいと思った。アンケートから授業以外でも自主的に英語の勉強をした学生たちがいることがわかる。そのような学生たちの頑張りが「到達度の自己評価」の結果に表れていると思う。</p> <p>期末試験では、多くの受講生が頑張った結果、最終成績でかなりの学生が80点以上、60点以上の学生は90%を越えた。したがって授業の内容は十分に理解され、目標はほぼ達成することができたと考えられる。それでも、6%の学生が及第点の60点に達していなかったことは残念だが、その学生たちも再試験の結果、最終的には単位を取得した。再試験の答案内容から、かなり勉強して再試験に臨んだことがわかる学生もおり、その頑張りを今後は最初のテストから発揮してくれるように願っている。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>テキストは大学指定のものであり、その内容も、学生の専門分野に関連している。そのため学生たちは、テキストを通して、専門分野の知識を深めることができたのでは、と思う。したがって科目の内容的妥当性には肯定的な判断を示したい。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

「授業の質の評価」については、「説明は理解し易いものであった」を含め、どの項目についてもかなり好意的な評価だと思う。特に「学生が参加する機会がつけられていた」や「学生の質問を受け付け、それに答える機会がつけられていた」という項目はほとんどの学生がYesと答えていることは、学生たちが授業に真剣に取り組んだことを示しており、学生の頑張りを評価したいと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学科指定のテキストを使用したけど、学生の専門の内容を反映したテキストで学生も関心を持って取り組むことができたのではないと思う。学期末試験の結果に学生の頑張りがよく現れていると思うので、目標の達成状況に関しては楽観的に捉えたいと思う。
それでも、この科目が苦手な学生たちは「難しい」と思ったことが、わかり、大変だったと思うが、よく頑張って取り組んでくれたと思う。一方で、この科目が得意な学生たちには、「もっと早く進んでほしかった」と思った学生もあり、バランスをとるのが難しいと思っている。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	保育科
氏名	金 銀英

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ハンゲル I	1	前期	選択	いいえ	88

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>○第二外国語として初級レベルの韓国語力をつけることを目標としている。開講後に行ったアンケートで（学校で実施する授業評価ではなく、別個に実施）「K-popが好きだから」や「韓国旅行の際便利そう」などの積極性が見られる受講動機がある中「単位が欲しいから」「英語が苦手だから」との返答が多数あるなど、学生間の温度差があることが分かった。</p> <p>○受講姿勢に差がある受講生全員が興味と持つように“楽しい”授業を目指した。学生が興味を持ちそうな韓国事情や毎年好評のK-popなどを授業に取り入れ最後の授業まで韓国語への興味が持続するように勤めた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された					やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>* 根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
成績平均 71.6296 という結果を出すことができた。また一人を除き落第することはなかった（再試の結果を含む）。授業評価においても「知識を新たに得ることができた」や「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の設問で高い満足度が見られ、講義が重点を置いている点と学生の満足とが一致する結果が得られた。						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性 試験の結果で見られるように第二外国語として目標とした成果を挙げられたので、内容的に妥当性があると考えられる。</p> <p>DP 授業中、学生達から受けた印象もさることながら、到達度自己評価でも高い評価を得ているので妥当性があると考えられる。</p> <p>まとめ 以上のことから内容的妥当性には問題ないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

初級という授業の特徴上、学生間やり取りができないが、韓国語の発表の時間や会話の機会などコミュニケーションを図れるように努めた。
またA・Bクラス、C・Dクラスとクラス分けをしても多い人数と、語学授業に向かない教室のため授業運営に苦勞を強いられたことも今後のため覚えておきたい。早い段階で教室を変えるなど対策を講じるべきだった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

第二外国語として学習歴のない学生を対象に、基本となる話す・聞く・書く・読む力をつけることが目標だった。その目標を達成できたことにより次の「ハングルⅡ」に進むに不足しない実力がついたと思われる。来年度も引き続きよい成果を挙げられるようがんばりたい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	保育科
氏名	財津 順一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
教育原理	2	前期	必修	いいえ	73

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この科目は、「人間にとって、教育とは何か」という教育の基本的意義の理解をはじめ、教育に関連する諸問題（発達と教育、家庭教育、生涯教育、教育法規、教育行政等）を理解するという広範囲にわたる内容を含むものである。また保育科としては、「保育」のさらにその基礎分野である教育一般を扱う科目であるため、講義時間中を中心に、それらの内容の基本概念、特にそこに示されている考え方の理解を大切にしよう、講義の初回に学生に伝えている。従って講義においては、毎回レジュメのプリントを配布し、空欄にしている重要語句について説明を聞きながら記入していくという授業方法を示した。また講義に際しては学生自身のこれまでの教育経験（主に、教育を受ける立場での）とかかわらせて授業を展開することを心掛け、学生にも自身の経験と照らし合わせつつ講義を理解するよう求めた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された		達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>講義中心の科目ではあったが、成績分布ではB以上が80%を超え、到達度自己評価においても、平均値・中央値ともほぼ4.0であり、おおむね目標は達成できたと判断できる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>内容的妥当性については、幼児・保育士資格の必修科目として求められているテーマを、今後ともしっかりと取り上げなければならない。実施時期については、本来、保育を学ぶ基礎として、高校までの自己の教育経験に照らしながら教育について理解するという科目の性質からして、一年前期の開講が最も望ましいと考えられる。しかし実習のための準備等の保育科の諸事情を考えると、現在の位置づけが妥当であろう。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

最初に講義中心に授業に臨むようにということを強調したためか、復習や自発的学習を行うものが少ないという結果になった。講義中の学びを定着させていくための働きかけの仕方を工夫していかなければならない。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

小学校以上の学校種の教員採用試験の準備のようなものが、保育科の場合求められていない点からも、教育についての諸問題をどう考えていくか、講義の中で学生と共に考えることを授業の中心とすべきと思うが、学習量や情報利用、図書館活用の結果に見られるような、講義以上に学びを深め、また発展させようという意欲を持つ学生への配慮も考えねばならないと思う。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	保育科
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
社会的養護	2	前期	選択	いいえ	71

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育士資格取得のための必修科目であることから、資格取得を目指す全ての学生が受講している。授業の実施にあたっては、社会的養護の担い手である保育士に求められる知識の獲得を目指すとともに、適宜、具体的な事例を用いることで、現場実践に引き付けて学びを得ることができるよう心掛けた。</p> <p>また、授業の進行状況に応じて適宜小テストを行い、復習に対する意欲の向上、学習状況の把握につとめた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価としてS-15名、A-33名、B-16名、C-6名、D-1名であり、S、A評価を取得したものは48名で全体の約67%であることから、目標はやや達成されたと考える。再試験対象者はいなかった。</p> <p>学生による授業評価をみると、「学習達成度の自己評価」では、すべての項目で94%以上の学生が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている一方で、いずれの項目においても2~4名の学生が「少しそうでないと思う」と評価が見受けられる。</p> <p>以上、目標はやや達成されたと考える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、保育士資格取得のための必修科目であり、「保育の本質・目的に関する科目」に位置づけられている。資格取得のための必修科目であることを学生も理解しているため、受講に対する意欲は比較的に高い。</p> <p>DPでは、学生による授業評価の知識理解の観点、意欲関心の観点での自己評価について、91%以上が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。</p> <p>以上のことから、内容的妥当性は問題ないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に
お示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、イン
ターネット利用」学生の意見など

今年度も、学生の質問を聞くために、授時間内に時間を設けたり、定期的にリアクションペーパーを使用するなどの対応を行った。また、昨年度み
えてきた課題についてもリアクションペーパーの書式を変更し、質問事項については学生全体に還元するなどの改善を図った。
他方、授業準備性において課題を残したため、次年度は改善に向けた取り組みを行っていききたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の取り組み状況や評価結果から、本科目の学習目標はやや達成できたと考える。
次年度も引き続き授業の質的向上に向けた取り組みを行っていく一方で、授業準備性に関してみ
えてきた課題について着実に改善を図っていききたい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	保育科
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助	2	前期	選択	いいえ	72

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育士資格取得のための必修科目であることから、資格取得を目指す全ての学生が受講している。授業では、保育士に求められる相談援助の基本的知識と技術の獲得を目指すと同時に、保育場面における具体的な事例を用いた個人ワークやグループディスカッションを多く取り入れ、授業での学びをできる限り実践と関連付けて考えることができるよう工夫した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された			やや達成された		やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績評価としてS-19名、A-28名、B-19名、C-6名であり、S、A評価を取得した学生が全体の約65%であることから、目標はやや達成されたと考える。また再試対象者はいなかった。</p> <p>他方、学生による評価をみると、「学習達成度の自己評価」「授業の質的評価」の全ての項目に対して、97%以上が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育士資格取得のための必修科目であり、「保育の本質・目的に関する科目」における福祉系の基本科目の一つとして位置付けられている。資格取得のための必修科目であることを学生も理解しているため、受講に対する意欲は比較的が高い。</p> <p>DPでは、意欲関心の観点、技能表現の観点での自己評価について、98%以上が「、まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。</p> <p>以上のことから、内容的妥当性は問題ないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業は、昨年度同様、講義から演習へという流れを常に意識して展開した。昨年度見えてきた課題を踏まえ、事例内容によっては事前に資料を配布することで、学生自身が十分考える時間を確保することにつながったと考える。また、適宜レポート提出を求め、学習状況を確認し、必要があれば時間を設けて解説を加えるなど学生の理解促進に配慮した。

他方、授業準備性において課題を残すこととなったため、改善を図っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

学生の取り組み状況や評価結果から、本科目の学習目標はやや達成できたと考える。

本科目は、今年度より開講時期が変わり、前期開講科目となった。次年度も引き続き授業で得た学びを実際の実習場面や他の科目と関連付けることができるよう、意識的な取り組みを行っていきたい。また、演習科目という特性を生かし、学生ができるだけ体験的に学ぶことができるよう教材の修正や改善を図っていきたいと考える。授業準備性についての課題については、着実に改善を行っていく必要がある。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
乳幼児の発達理解と遊び	2	前期	選択	いいえ	71

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は資格取得に必要な科目であることを学生も理解しているため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかを希望する学生はほぼ全員受講している。受講学生は、1年次の授業及び実習での経験を通して、子どもの発達理解や個別の特性を理解しつつある段階であるが、2年次の実習では実際に子どもに“あそび”を実践するため、授業での体験は保育者としての視点を持ちつつ臨まなければならない。</p> <p>オムニバス科目のため、現場の幼稚園教諭が実際に学生に遊びを提供し、今年度からは保育者として留意すること、子どもの楽しみ方等を毎回授業の最後に振り返ることにより、指導計画の立案に活かせるように配慮した。その結果、学生の積極性も高めることができたと考えられる。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された		やや達成された	どちらともいえない		やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価は89点(最高点98点、最低点66点、S-38人、A-25人、B-5人、C-2人)である。本科目は、2クラスに分かれて行っているが、各クラスの得点の平均差は3点であった。しかしながら、S評価(23-15)及びA評価(9-16)の人数差が大きく、クラスによる理解及び意欲に差が見られた。受講にあたっては、図書館などを利用し授業に活かすなど、積極的に取り組んでいる学生も見られ、意欲的に授業に取り組もうとしている様子が見える。今後は利用を積極的に進めるなど授業の中でも促していきたい。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門科目」における「保育の対象の理解に関する科目」に位置づけられており、幼稚園教諭免許状(必修)、保育士資格(選択)の科目である。受講生はいずれかの免許・資格を取得する目的を持っているため、比較的受講の意欲は高い。</p> <p>また、DPに関しても、子ども理解、保育者としての対応など指導案の作成を重ねる毎に深められており、紹介した遊びを基に他の遊びに興味を持ち調べたり、体験した遊びを対象の年齢に合わせて変化させたり、紹介された教材を作成するなど意欲も高くなっていった。</p> <p>以上のことより、内容的妥当性には問題はないと考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

本科目は、本学独自の科目として「保育の対象理解」に該当している。授業の質的評価得点においては、3.9点となっており、昨年度（3.75）より改善されているといえる。

計画に際しては、特に6月の実習後より、体験を振り返り、実際の子どもの様子を意識しながら立案されていることがうかがえる。しかしながら、計画作成に苦手意識を持つ学生も数名いることから、このような学生には、より積極的に働きかけを行っていきたいと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、概ね授業の目標は達成できたと考えられる。

担当科目教員同士で授業時の様子などの意見交換を行いながら、計画を進めることによって、学生の現状を把握しながら授業を展開できたのではないかと思う。

今後は、苦手意識のある学生を見極め、働きかけを工夫していけるようにしたい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
子どもの臨床心理	2	前期	選択	いいえ	25

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>選択科目であることから、70.8%の学生が受講動機に「関心のある内容である」を挙げている。そのため、授業の詳細は学生のニーズに対応して組み立てられるよう柔軟に対応した。また、活動を多く取り入れ、学生が体験的に学べるように配慮した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された		達成された			
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	成績評価の平均は88点と高い。これは、授業中に学んだことのまとめや、体験したことの振り返り、あるいは自分についての心理テストを用いた総合所見のレポートにより評価されている。いずれも、実践したことを内省し、考察する課題である。これらの課題に積極的に取り組み、十分な内容であったためにいずれの学生にも高い評価をしている。以上のことから、それぞれの学生は、目標を達成しているものとする。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、保育の対象理解に関する科目であり、保育者として現場で適正に考え、判断するための知識と応用力を培う科目である。学生の達成度評価でも「的確に判断する力を得ることができた」に対して回答の平均値が4.0点であり、内容的妥当性があるものとする。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

2年生の前期は、学外での実習に向けて授業時間外で様々な課題への取り組みがある。そのことに配慮して、選択科目である本科目は、できるだけ授業時間内での活動と課題への取り組みを充実させるように工夫した。また、授業内容について感想を述べ合うことも理解を深めるために必要な復習であることを学生に説明し、積極的に行うように促した。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

カリキュラムないでの位置づけに対して、概ね妥当な内容で実施できていると評価している。また、学生の達成状況も十分であると考えている。来年度は、カリキュラム改正により、「保育カウンセリング」の内容も踏まえた科目として新設される。そのため、授業内容は、よりワークを中心とした体験的なものに変容する必要がある。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	保育科
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
子どもの保健 I b	2	前期	選択	いいえ	72

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、1年後期開講の「子どもの保健 I a」を踏まえての科目であるため、学生にとっては勉強の方法などが慣れた状況での受講であった。そのため、今年度も学生にとっても教員にとっても戸惑いなく授業を進めることができた。また、この科目は、保育士資格必修科目であるため、ほぼ全員が受講することになる。1年後期の「子どもの保健 I a」で子どもの身体の正常な機能を抑え、今期、その異常を取り上げているため、1年後期で作成した各自のノートが役に立っていた様子である。今年度の受講生は、1年後期の学修した内容の記憶もしっかりとしており、今期の授業に生かすことができていると評価している。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>この科目は、知識理解が主の科目であるため、評価方法の大半を定期試験で評価した。定期試験があること、出題は万遍なくされることは、受講生には周知のことである。そのため、各回の授業への取り組みは真剣であり、ノート作成を充実させ受講生自身が自分ができるように工夫したノート作りを心掛けていた。模範とすべきノート作成をしている受講生も多かったことが今年度の特徴であると言える。今期の定期試験の難易度も、例年と変えてはいないが、点数のみならず、解答の内容を見ても、レベルアップをしており、ノート作成の成果がうかがえる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>科目自体の内容的にも、また、「到達度自己評価」から見る受講生の回答からも、DPにおける本科目の位置づけから見た内容的には妥当であると考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

講義をしっかり聞き、必要に応じてしっかりメモを取る。また、メモは授業内容を思い出せるようなメモにする、といことを今期の受講生が1年の時から指導してきた。それができるように授業スライドは、今期もスマホ等で撮影することを許可している。受講生は、授業への取り組みも真剣であり、ノート作成もしっかりと取り組んでいた。しかし、授業評価を見てみると、予習復習をした回数が少なく、受講生のノートの充実度との不一致を感じる。また、今期の授業評価で「達成度の自己評価」において全ての項目に「少しそうでないと思う」が1名、「授業の質評価」において全ての項目に「少しそうでないと思う」が2名回答している。同一受講生たとすると、授業を受けた満足度が低いように思われる。次年度に向けて、どうしてそのような評価になったのか精査し、改善策を講じたいと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

授業評価の各項目をはじめ、定期試験の結果からも、受講生は積極的に学修し本科目の内容を習得できていると評価している。しかし、この習得に至る状況は、依然、学生の負担が大きいことは否定できない。今期も2年前期は時間割上にも余裕がないため、引き続き、達成目標の設定を見直し、学修時間の確保に負担が生じないように工夫していく必要があると考えている。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	保育科
氏名	出末 登代子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子どもの食と栄養	2	前期（後期）	選択	いいえ	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考に記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>◎保育現場での食育の取組みは、職員間の連携も重要であるため調理実習以外においてもグループでの演習発表を取り入れている。</p> <p>◎調理体験が食育・クッキング保育に活用できるよう簡単な実習レシピに努めている。</p> <p>◎昨年同様、食育実践発表（調理・演習）は、早期から準備に入り主体的に取り組めるようにした。しかし授業計画・シラバス進行の配布プリントをみていないため※1、早期から準備に入っても「何のために何の準備が必要か」一部学生には十分な理解が得られにくかった。</p> <p>◎昨年度、栄養素の機能と健康との関連の理解が難しい様子がうかがえたことから、復習を兼ねて給食事前指導の発表だけでなく、食育の取組みとして、小学生低学年対象・糖質について伝えるPOPデザイン作成の課題をおこなった。</p> <p>※1：調理実習日に準備不足の学生がいた等</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業でのワークシート、また課題レポートの提出はほぼ100%であった。当科目は演習科目であるため、ワークシートや課題の中にはプロセス評価に用いているものもある。発表は、個人だけでなくグループ別に評価されるものが含まれている。まじめに課題に取り組む姿勢が見られた場合プロセス評価はS～A判定となる。そのためトータルの成績結果は平均値88±5.5であり、知識理解 (DP1・6割) 平均値53±4.0 (中央値54)、技能表現 (DP5・4割) 35±2.1 (中央値35)であった。数値上は達成されたとみなされた。しかし『学習到達度の自己評価②少しそうでないと思う』に1～2名。『学習量の評価』で授業の課題以外に学習に取り組んでいないものが多かった。日ごろの食生活も学習の場になり得るのだが、自身の食生活を身近なものとしてとらえることができなかつたようだ。多くの者が、近い将来子どもへの食育を実践することから、自発的学習「食生活に関する事等」に取り組むことが課題としてあげられることからやや達成されたとした。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>◎CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 当科目は選択であるが、保育者に必要な専門科目であり、保育士資格必須科目である。「受講動機」①必須科目65.6%②資格取得37.5%であった。卒業後、ほとんどの者が保育者として就職している実態があること。また社会の保育者に対するニーズは幼稚園教諭免許と保育士資格の両方の所持者であること。さらに幼稚園、保育所等での「様々な食育の取組み」の推進が求められていることから、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>◎DP、行動目標からみでの内容的妥当性 当科目は演習科目である。演習を通して理解をおこない、食を通しての援助技術を身につける科目である。「到達度の自己評価」の各項目別平均値・中央値に着目すると、当教科DPに該当する(2)知識の習得と(7)技術を身につけるがポイントが高かった。これらのことを関連性ありとみると内容的妥当性は評価できるのではないかと推測される。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

◎授業の進め方において「授業の質の評価」を振り返り、栄養や調理の用語が理解できる、わかりやすい解説に努めたい。

◎演習・調理実習の進行は配布プリントで授業をおこなっている。調理実習では予習をしていない場合や調理技術が未熟で学生自身が満足いく結果が得られないグループがみられた。しかし調理技術を身につけることがこの授業のねらいではない。配布プリント・レシピの予習をおこない、みずから調理実習に参加し、調乳、離乳食などから対象の発育・発達に応じた食の特徴の理解をおこない、対象への援助方法の再確認が重要である。そのため実習・演習の解説において、食事を通しての子どもへの援助方法の理解を深めるよう努めたい。

◎課題提出期限が分かりにくい、説明が早い→黒板で示し口頭で説明をおこなった。しかし授業終了直前におこなったことが一因であると推測され、一部学生に伝わらなかったと考えられた。演習課題は、授業終了直前でなく学生が聞く姿勢が来ていることの確認をして説明をおこないたいと考えている。

◎課題提出は前述したようにほぼ100%であった。前期は就職と結びつく学外実習があるためか「学習量の評価」予復習0回の学生がみられた。課題内容を再考する必要があるかと思われる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

①前期15回（1回＝90分×2）の演習授業である。②食品の名前や料理が身近でない学生がいる。『料理をしないもの(0回/週)：クラス別72%（13名/18名）・58%（11名/19名）』『ほとんど料理をしない（0回～2回/週）：両クラスで84%（31名/37名）であった』※1

①②に加え短期間での幅広い授業内容のためか、得た知識と技能を関連づけることが難解な学生がみられた。以上のことから授業の質の評価の低い学生が若干みられたことに結びつくと推測される。そのため行動目標の知識理解が得られたという達成感を感じられる・わかりやすい演習内容の進行が課題である。

◎後期同じ授業内容を実施するにあたり、後期学生を俯瞰し来年度に向けての改善に取組みたい。

※1：授業開始前の質問紙より

リフレクションカード 2016年度前期

学科	保育科
氏名	岩田 美穂子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育・教育課程論	2	前期	必修	いいえ	73

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業の実施にあたり大切に考えたことは、出来るだけ具体的な保育の場面をイメージして学習を進められるようにすること、さらに、幼稚園教育要領及び保育所保育指針の理解を深めることができるように配慮した。開講時の学生は、すでに短期間の教育実習及び保育所実習を経験しており、その点からして実習時期の指導計画についての具体的な事例については、理解がし易いようであった。2年次に予定されている保育所実習及び幼稚園教育実習を目指して、具体的な週案や日案作成の手順や教材作成については、取り掛かりやすかったが、全体計画である保育・教育課程や長期の指導計画については興味が薄れて、集中して受講することが困難な学生も見られた。学生の自由記述の中に「わかりにくかった」という意見があった。季節の年中行事や園行事についてのグループ研究を交えて長期の指導計画の理解を図ろうとしたが、表面的な理解に終わった感があり反省している。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は76.5であり、73名中6名は、標準レベル(試験及び提出物の評価合計を70点以下と設定)に達することができなかった。一方35名は、理想的レベルに(80点以上と設定)したと考えられる。学生の意見の中に授業が良く分からなかったという意見があることから、個別の援助が不足していたことが反省される。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、幼稚園教諭免許状および保育士資格取得のための必修科目である、学生も一定の成績を取めていることから、内容的にはおおむね妥当であったと考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に
お示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方について、学生が意見を出しやすくするために、まず自分の意見をまとめ、さらにグループ間での話し合いの結果をまとめて、発表に結び付けようとしたが、あまり効果が無く、時間がかかった割に内容が充実しなかった。また、図書館などで調べようとする学生が少なく、スマホで安易に検索した結果を発表に繋げる学生が多く、保育の専門性に欠けるグループ発表となることがあり、指導の方法に苦慮した。1年生の時から、学習方法の指導を実習や他教科の教員とも協力しても取り入れ、指導する必要があると感じた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

保育・教育課程の講義を振り返り、これで学生が卒業・就職し、望ましい指導計画作成に関わる準備ができているのだろうかと思案もある心配な面もある。まじめに取り組んだ学生の中には、経験を積むことによって、望ましい保育計画を作成する力は備えられたと考えられる。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	保育科
氏名	末成 妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容の研究・表現	2	前期	選択	いいえ	74

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機が「必修科目である」67%、「資格習得に必要な科目である」47%、と2つの数字に開きがあり、さらに「関心のある科目である」6%と関心のある学生が極端に少ないことに危惧を覚えた。しかし実際に授業を開始してみると後期の保育総合表現と密接に関係していることや、すでに多くの学生が現場の保育実習を経験していることもあり概ね意欲的で積極的に取り組む好ましい傾向がみられた。</p> <p>②子どもの発達段階に即した豊かな感性をはぐくむ表現遊びの重要性を認識し、音楽に関する知識・技能を学びながら教師自身も楽しむことのできる音楽表現遊びを実験することを主眼にした。「身体表現」「手遊び」「身近な楽器を活用した合奏と身体表現との融合」など幅広い活動を多くの楽曲を用いて行った。DP到達度自己評価が3.7～3.9で、「コミュニケーションや表現力を高めることができた」の評価で「わりとそうだと思う」「そうだと思う」を合わせると70%なので、現場に役立つひとつの大切な技能を身に付けることができたと思う。</p> <p>③講義の最後で行った発表も穏やかで、励まし合い、お互いの良い点を認め合う協力的な雰囲気の中で行われ、それが「学びを深めたいと意欲を持つことができた」「まあそう思う」「そう思う」を合わせると、全体の95%という数字になったのだと考える。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された				
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①表現遊びの実例を体験し、授業評価では「学生が発表する機会がつけられていた」に「まあまあそうだと思う」を含めて96%が「そう思う」に回答しているが、到達度自己評価では「少しそうではないと思う」という学生が4人いて、自信のなさからくる「ためらい」から十分な表現に至らなかったことが推察できる。</p> <p>②「学習量の評価」では授業の記録を配布資料にしていた学生が84%いて、知識の蓄積に問題がなかったか次回に検証する必要がある。</p> <p>③図書、インターネットの利用が14%と低いのは啓発の不足であり課題となった。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP学生の行動目標からみた内容の妥当性 学生の行動目標のひとつである「表現をより豊かにするための即興演奏の基礎を学ぶ」ことに十分な時間が取れず、説明と手法の実演に終わってしまいうち年度の課題であるが、到達度自己評価の「専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」は「かなりそうだと思う」「わりにそうだと思う」で69%「まあまあそう思う」を加えると95%になるので、今後学習が深まり、知識技能が伴って豊かな音楽表現を目指す保育者の基礎を身につけることができた。内容的には妥当であったと考える。</p> <p>②自由記述から「音楽の重要性を実感した」「楽しかった」「印象的なリズムがあっ楽しかった」など好意的な記述がある反面、もう一歩進んで「子どもの表現遊びを引き出す保育者になる」ための深い学びを今後進めていきたいと考えた。しかし全体としては「説明も理解されやすい」は「わり」に「まあまあ」「かなり」の合計が91%、「課題も明らかであった」95%となっているので、内容的には妥当であったと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、「授業中に自分の意見をまとめ、話し合う、発表し合うなどなど、学生が参加する機会がつけられていた」の平均が3.9と比較的高かった。どうしても表現するときに気持ちがほぐれず緊張してしまう学生も、回を重ねるごとに他の人の発表などを参考にしながら自分の表現を充実させていけたと考える。またこの授業を通して自分の適性に向かい合い、得意分野を見つけて伸ばす励みを見出し、個人であるいは集団で音楽を使って表現する楽しさを味わうことで、保育現場の日常の音楽遊びを考えるきっかけを提示したが、レポートを通してこうした保育現場の日常に生かせる事柄の定着を確認することを授業改善の課題と考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

授業課程を振り返ると、具体的な楽曲を用いて表現遊びを体験し、設定するという本科目の目標は概ね達成できたが、個々の事例に十分な検討を加え発展させるために学生同士が検討し合う時間を設けることができなかったため、復習課題を適切に設けていくことを考えたい。また、インターネットの検索による情報収集において、本当に価値ある情報とそうでないものを見極める力をつけ利用することが大切であり、安易にアップされた演奏や演技を模倣してしまわないしっかりした学習を身につけさせるために、図書館の利用を推奨したい。信頼できる図書館の利用が約1割だったので、今後の反省点として授業での働きかけをさらに積極的に行いたい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	保育科
氏名	富永 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育内容の研究・表現	2	前期	選択	いいえ	74

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>今回の受講動機をみると「必修科目である」63.5%、「資格取得に必要である」47.6%となっており、「関心のある内容である」6.3%と低い数値に留まっている。また、授業に参加するための準備として、1日30分程度以上の準備をどれくらい行ったかという設問に対して0回が46名と多くを占めている。資格に必要な科目であることから、基本的知識・技能の修得はもちろんであるが、技術の応用を含めた幅広い授業内容を実施し、学生の関心を引きつけるように心掛けたい。また、具体的な準備学習内容について、各授業回で示していきたいと考えている。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績については全員が合格点に達しており、再試対象は0名であった。学生の目標度自己評価を見ると、とくに本科目で重要な知識理解および技術表現については、知識の確認、修正、修得が4.1となっている。自分なりの目標達成が平均値で3.9であった。成績と学生の自己評価を照らし合わせてみても、総合的に、おおむね基本的な知識・技能は修得できていると考えられるが、修得した知識・技能を生かして現場で実践できるようになるには未だ足りない部分があると思われる。次年度に向けては、現場での具体的な実践法を交えながら、子どもとの関わりをイメージできる授業を進めていきたい。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性、および、DP、行動目標からみた内容的妥当性ともに、資格に必要な基本的な内容であることから内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業内での課題提出物を評価対象としていることから、その評価基準についてはしっかりと授業の最初に説明をおこなっている。そのことから、授業の質評価については、おおむね高い評価となっているが、今後もさらにきめ細かい目標設定、評価基準を学生に示していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

本科目は、専門的知識・技能を修得することを目標としており、その目標は概ね達成できたと考えられる。ただし、学生の評価においては、各設問項目で少数（1～2名）ではあるが、否定的な回答も見受けられた。今後は、全体的な目標設定と同時に、学生ひとりひとりに応じた目標設定、授業内容を検討して行く必要があると考えられる。また、授業以外の学習時間が少なかったことを考慮し、予習・復習課題を具体的に提示するようにすることをくわえていきたい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
障害児保育Ⅱ	2	前期	選択	いいえ	73

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育現場で必要性の高い、発達障害についての知識を深め、保育実践のスキルを高めることを授業の課題としている。学生のほとんどは、免許・資格のために必要な科目であることから受講している。そのため、一般の保育所や幼稚園に就職するさいにも発達障害についての知識と技術が必要であることを説明し、受講意欲を高めることを意識して実施している。また、障害児について身につける知識と技術は多く、保育現場に出てからも研修などで新しい知識を身につける必要がある。そのための土台作りの科目であると考えている。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された		やや達成された			達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績は、教材作成や指導案の作成と実施、課題、レポートなどで評価した。DPに即して、知識を身につけることと、実践することの両方を評価するためである。その結果、学生の成績の平均は77点であり、目標は達成されているといえる。特に、障害児を対象とした保育実践については、授業の前半では気後れる学生が多かったが、授業の後半では様々なシチュエーションをイメージできるようになっていたことから十分に達成できたと感じた。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、保育の内容・方法に関する科目であり、障害児保育Ⅰにおいて、様々な障害を持つ子どもたちへの保育についての知識を学んだ後に、発達障害児にターゲットを絞って、より現場に即して実践的に学ぶ位置づけである。アンケートでは「的確に判断する力を得ることができた」の平均値が3.8点、「必要となる技術を身につけることができた」の平均値が3.8点であり、位置づけに見合った目標を達成できていることが学生の実感からもうかがえる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に
お示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、
インターネット利用」学生の意見など

学内で授業を実施しているなかでは、障害児に実際にふれあう体験ができないことが問題である。外部講師の活用や学外施設との連携などで、障害児とふれあう機会を作るなど、より実践的な授業の構成になるように工夫する余地がある。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

教育目標は概ね達成できていると考えている。今後中期的には、障害児保育が実践されている現場と連携できるような授業内容にしていくことが課題である。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	保育科
氏名	北野 久美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
乳児保育Ⅱ	2	前期	選択	いいえ	72

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>重点を置いたこと：現場の園長であることを強みとし、折に触れ現場の実情を具体的に示した。また、子どもの姿をもとにして、実際に発達の流れの中で活用し実践に結び付くような展開とした。特に現場の保育士が子どもの遊びの中から検討し使用している手作りおもちゃ等作成することで実践力が身につくように配慮した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された		やや達成された			やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>自己評価の中で、(1)自分なりの目標を達成したという項目や(4)自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができたことに対する評価が高いことから、学生が自分なりの学びを深めていることが分かる。また、(10)職業選択の参考になった項目もほとんどの学生が肯定的に評価していることから課題意識も出ていることが見て取れる</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>事前学習や、振り返りに対してあまり時間をかけていないが、授業の中でかなりの疑問を消化できること、実践力を高めるためにライブ感を大事にしていることから当然の評価といえる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

多くの学生がシラバスを参考にしていないことから、初日のオリエンテーションの方法を再考しなければならない。ただ、教室の環境がPC,に対応していないこともあって、ビデオや教科書を中心とし、実践力を高めるためのワークや作業が中心となったことも否めない。次回からの課題として、オリエンテーションを丁寧に行い学習への参考や目当てとしたい

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

乳児保育の基本は乳児の成長発達を理解することにとどまらず、即戦力のためのスキルを身につけることも重要であることから、子どもの発達についてを十分に理解したうえで自らが考え、語り合うことが重要だと現場において実感している、この現場力が身につくような仕掛け、方法をともに考えながら進めたいと考えている

リフレクションカード 2016年度前期

学科	保育科
氏名	植村 和彦

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ピアノ 奏法c	2	前期	選択	いいえ	67

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考に記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1年次前期の「ピアノ奏法 a」および1年次後期の「ピアノ奏法 b」の単位修得状況が様々であることに加え、開講時点で学生が習得しているピアノ演奏技能にも大きな個人差があることに留意し、1年次の学習状況を踏まえつつ、各自の進度や演奏技術の習得状況に合わせた個別指導を行うことの出来る体制を採用している。2年間4期に渡って演奏技能を習得していく段階においてより実践力を身につけていくことを目的としていることを十分に伝達すると同時に、1年次と同様に週に一度の授業時間内だけでなく翌週の授業までの間に、各自で継続的に反復練習を積み重ねることが必要不可欠であるため、毎回の個別指導終了時に次回の授業までに取り組むべき課題点や履修科目の目安等について出来るだけ明確に指示するよう心がけている。また、特に開講時点でピアノ実技科目に関する資格取得要件単位を満たしていない学生や、大きな課題に直面したり進捗が遅れたりしている学生が精神的に追い詰められることのないよう、意思の疎通をはかりつつ、少しでも前向きに取り組むことの出来るように助言している。</p> <p>資格取得要件として「ピアノ奏法 a」～「ピアノ奏法 d」の4単位中2単位以上の修得が求められていることを踏まえて、本科目において1単位を修得出来るよう最大限努力すること、またどうしても課題曲の履修が間に合わず当科目の単位修得が出来ない場合でも、次期の「ピアノ奏法 d」において必ず単位を修得し、資格取得要件を満たすことの出来るよう、自らの計画性と展望を持って受講するよう指導している。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された					やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>当科目の達成度評価（成績）における平均値は77.8点であった。到達度自己評価を見ると、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」の平均値は3.9点であった。また、課題曲の履修状況と期末の実技試験の評価を総合的に振り返ってみると、本科目の単位を修得した48名に関しては概ね標準的レベルに到達したことが窺えたことから、技能表現に関わる目標については、やや達成されたと言えるのではないかと。</p> <p>その一方で、当科目の特性上、予め提示した課題曲の履修が間に合わなかった学生は単位を修得出来ず、次期の「ピアノ奏法 d」において残された課題を補填することとしているが、これに該当する学生は18名で受講登録者中26.9%を占めた。今後、この学生たちが「ピアノ奏法 d」において、余裕をもって設定された課題曲の履修を修了することが出来るよう留意しつつ、さらに手厚く指導していく必要がある。</p> <p>また、達成度評価（成績）の平均値にはクラス間で差異があり、本科目では全4クラス中で最も高かったクラスの平均値は80.7点であったのに対し、最も低かったクラスの平均値は73.6点と、やや隔たりが見られた。このようなクラス間格差の傾向は例年見られるものの、その理由は判然としない部分もある。今後も起こりうる可能性があるため、個別指導形式で学ぶ科目でありながらも、同時にクラス全体の状況にも十分配慮しつつ授業を進める必要があると考える。</p>					
* 根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>① CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性 本科目は在学中の2年間4期に渡って継続的・段階的に進行していく実技系演習科目の中核的な位置にあり、資格取得を目指す上でも出来る限り単位修得しておくことを求めているものである。1年次の履修状況は勿論のこと、「保育所実習」や「教育実習」において各自が実習先から提示される多様な課題曲、また就職試験受験時に求められる演奏実技課題への対策など、学生一人ひとりのニーズに応じた柔軟な対応が出来る体制を整えつつ、受講者全員が個人差はあってもそれぞれ基礎技能や保育現場での応用力を高めていくことが出来ている現状から、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>② DP、行動目標からみた内容的妥当性 学生の技能面では大きな個人差があるが、全6名（専任1名、非常勤5名）の教員体制のもと、受講者一人ひとりの進度やニーズに個別に対応しつつ、教育を行っている。既に資格取得要件の2単位を修得済みの受講者に対する課題曲（応用編）の設定に関しても、4期を見据えた科目であるという特性と、実際の保育現場で求められる演奏技能の必要性を踏まえれば妥当であると考えられる。</p> <p>③ まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

演習の進行速度に関して「進めるスピードを速くしたい」との記述も見られたが、1年次同様に学生個人の現状をよく見極めつつ指導に当たる意識を教員間でも共有することが求められる。また、授業時間以外での自主的な予習・復習に関して言えば、実技系の演習科目であるという特性上、ほとんどの学生が多量の時間を充てて取り組んでいるということが、「学習量の評価」の集計結果からも明らかである。しかし中には、授業以外の時間に学習出来なかった理由として「時間がなかった」という記述も見られた。保育科の過密な1週間のカリキュラムの中でも効率的な予習・復習を積み重ねていけるように指導・助言していくことが大切であると感じる。

授業の進め方においては、当該学年の1年次では採用していなかったローテーション制によるレッスン（受講者全員が前期中に専任教員のレッスンを受講する形式）を導入し、クラス全体の状況把握に努めた。何のためにピアノ演奏技能を高めていく必要があるのか、学生自身が目標を見失ってしまうことのないように、今後控えている各種実習や就職試験に臨む際や、就職後の保育現場での実践を日々意識・想定しながら継続的に学びを深め、技能を高めていけるように、一方的な実技指導に陥ることなく、1年次以上に対話を重ねながら進めていくことが重要であると考え。また、複数の教員で担当する科目であるため、グループ間で進行や指導方針等に過大な格差が生じないように十分配慮し、担当教員間で連携を図りながら進めていくことが求められる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

ピアノ実技科目の中心にあたる本科目の位置づけからみて、個人差はありながらも基礎技能の習得および演奏技能の向上という点においては概ね達成出来たが、上述の授業の進め方や教材設定の在り方においては、引き続き改善の余地があると思われる。また、担当教員の変更を求める記述も見られ、少人数制による実技指導を主とする本科目にとって、これも毎年の課題となっていることは事実である。これらの意見を真摯に受け止め、学生がより意欲的かつ主体的に学ぶことのできる授業環境を整えていくことを目的として、さらなる改善策を模索したい。

情報利用の面から見ても、シラバスの活用に関する「この授業を履修する際にシラバスの記載を参考にした」の設問に対して、53名（受講登録者中80%）が「参考にしなかった」と回答しているが、たとえ進度に大きな個人差がある本科目であっても、達成目標や授業計画の確認作業において受講者全員に大いに活用を促すとともに、引き続き担当教員からの説明と助言を十分に行っていきたいと考える。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	保育科
氏名	岩田 美穂子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育者論	1	前期	必修	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本講義は、幼稚園教諭免許及び保育士資格取得のための必修科目である。授業の実施にあたり大切に考えたことは、第一にキリスト教保育の精神に基づいた保育者の在り方を学生に少しでも伝えたいと考えた。1年生で入学してすぐの時期なので出来るだけ具体的な保育の場面や保育者の姿を知って、その上で学生自らが考える内容にしたいと計画した。映像や写真で実際の保育現場の記録を視聴し、子どもが育っていく姿と働きかける保育者の姿から、保育者の役割やあり方を考えられるように計画した。開講時は、まず導入として思い出に残る園の先生についての発表を一人ひとり行った。この発表は自己紹介にもなり、又、自分の幼いころの先生の思い出を語ることで抵抗感を抱く学生は見られず、時間が足りないくらいに各々が喜々として発表することができた。何よりも本科目について、各々が具体的なイメージを持つことができ、和やかな中にも望ましい教育的雰囲気を持つクラスのスタートとなった。保育者ではないが、キリスト教保育に大きな影響を与えた、ペスタロッチ、フレーベル、モンテッソーリ、マザーテレサ他についてグループ発表を行った。このような、グループ学習は、保育者間の協同の大切さの学びともなったと思う。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は、78.5であり、94名中8名が標準レベル(試験及び提出物の評価合計を70点以下と設定)に達することができなかった。このうち再試受験者は2名である。今年度は、小テストを全て文章問題としたが、概ね良好な成績であった。短時間の試験時間にもかかわらず、書字や文章が丁寧な学生が多く見られた。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。授業が分かりにくかったという意見もあり、特に幼稚園教育要領や保育所保育指針の解説の際に、興味を失う学生が見られたので、その点反省している</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方が盛りだくさんになりすぎたのか、忙しかったとか、時間がなかったという意見が多かった。保育科1年次は、時間割も混んでいて、他の科目の関係もあると思うが、ゆとりを持たせた授業計画の必要を感じ、反省している。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

わかりやすい授業をすることが課題である。多くのことを語り過ぎず、簡潔に、学生の心に響く講義を心がけていく必要がある。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	保育科
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
児童家庭福祉	1	前期	必修	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目の受講対象は1年生である。卒業必修科目であり、保育士資格取得のための必修科目でもあることから、全ての学生が受講している。受講動機をみると「必修科目である」が91.5%であるのに対し、「資格取得に必要である」が31.7%と大きな差がみられる。本科目での学びは、保育士として必要とされる福祉的視点や援助観を涵養していくうえで重要と考えるため、科目の位置づけや意義について視覚資料を用いるなど改善を図りたい。</p> <p>授業では、学生の復習への意識を高めるとともに、学習状況を確認することを目的に、計8回の小テストを実施した。また、リアクションペーパーを活用し、学生の疑問や意見に対応できる取り組みを行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価としてS-22名、A-39名、B-19名、C-12名、D-0名であり、S、A評価を取得した学生が全体の約66%であることから、目標はやや達成されたと考える。また再試対象者は4名であった。</p> <p>他方、学生による授業評価の結果をみると、「学習達成度の自己評価」では、すべての項目において93%以上の学生が「まあまあそうだと思う」以上の評価がなされており、意欲関心を示す項目では、98%以上の学生が「まあまあそうだと思う」以上の回答をしている。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、「専門科目」における「保育の本質・目的に関する科目」に位置づけられるもので、福祉系科目の基礎となる科目である。保育士資格取得のための必修科目であることを学生も理解しているため、受講に対する意欲は比較的に高い。</p> <p>DPに関して、「学習達成度の自己評価」における知識理解、意欲関心を示す項目で、97%以上の学生が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。</p> <p>以上のことから、内容的妥当性は問題ないと考え</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業では、昨年度同様、可能な限り学生が発言できる機会を設けることで、学生が主体的に考え取り組むことができるよう配慮している。また、昨年度みえてきた課題である「学生への質問方法の工夫」に関しては、クイズ形式の質問にすることで発言する学生にできる限り偏りがでないよう改善を図っている。今年度は授業の進行状況に応じて適宜小テストを実施し、復習への意識を高めると同時に、学習状況の確認に努めたが、その一方で授業準備性において課題を残すこととなったため、改善を図っていききたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

学生の取り組み状況や評価結果から、本科目の学習目標はやや達成できたと考える。
次年度へ向けて、先の欄であげた不特定多数の学生が発言できる場の提供、新たな取り組みとしての小テストの導入など、授業の質的向上への取り組みを継続して行っていく一方で、授業準備性に関してみえてきた課題について着実に改善を図っていききたい。また、カリキュラムマップ上の位置づけからも、本科目で得た学びを学生自身が他の科目と関連付けることができよう、意識的な取り組みを行っていききたい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育の心理学 I	1	前期	必修	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目もは、今年度より開講される科目であるが、資格取得に必要な科目を学生も理解しているため、幼稚園教諭免許、保育士視覚いずれかを希望する学生は全員受講している。受講学生は乳幼児についての基礎的知識や体験が少ないため、今年度よりスライドには対象の写真を用いるなど視覚的に理解を促すよう配慮した。配布資料は集約し、適宜書き取りを行う事によって授業に集中できるようにしている。</p> <p>講義を進めるにあたっては、なるべく教師からの一方的な教授になることの無いよう、事例や学生同士のディスカッションを取り入れ、これまでの経験を振り返ることができるような内容を取り入れた。また、講義を主体的に受講することを意識づけるために、評価に授業ノートの提出を取り入れている。これにより、講義であっても重要箇所を聴き取る力を身につけられるよう意識している。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された	やや達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価は78点(最高点93点、最低点41点、S-4人、A-37人、B-42人、C-5人、D-4人)である。本科目は、2クラスに分かれて行っているが、各クラスの得点の平均差は2点であり、S、A、B、C評価の内訳もほぼ変わらない。つまり、両クラスも偏ることなくほぼ同じくらいの理解度であるといえる。しかしながら、「到達度自己評価」、「授業の質評価」ではいずれの項目も「少しそうではないと思う」と判断している学生が複数いることから、学生による理解の差が見られることは否めない。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、卒業必修科目であると同時に、「専門科目」における「保育の対象の理解に関する科目」に位置付けられており、幼稚園教諭免許所(必修)、保育士資格(必修)の科目である。受講生は、いずれかの免許・資格を取得する目的を持っているため、比較的受講の意欲は高い。</p> <p>DPに関しては、試験解答状況を見てもほとんどの学生において現段階での課題は達成できていると考えられる。</p> <p>以上の事より、内容的妥当性には問題ないと考えられる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業時の発言は学生にとって勇気が必要であり、発言する学生としない学生に偏りが見られる。そのため、発言を促す際は、なるべく数人での意見の出し合いをする機会を設け、発言することへの意欲が高められるように配慮した。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

全体的には学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、概ね授業の目標は達成できたと考えられる。しかしながら、講義の中での要点をつかみ取りにくいとの指摘もあるため、学習内容量にも配慮していきたい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	保育科
氏名	村上 里絵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育内容総論	1	前期	必修	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、保育士資格、幼稚園教諭免許の取得における必須科目である。同時に、2年次における教育実習・保育実習や資格取得後保育現場で日常的に行う仕事＝「保育」の内容や方法を理解しておくことが重要であると考えている。保育現場で生かす、子どもの発達理解とともに、乳幼児にとってふさわしい「保育内容」や「保育方法」「環境構成」について、国の示す「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」の正しい解釈が出来るよう配慮した。また、実際の保育実践における領域「健康」「人間関係」「言葉」「環境」「表現」が関連してその枠を超えて総合的に展開され乳幼児が体験することが「保育内容」であることを強調した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				どちらともいえない
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>持ち込み試験による成績の平均値は、Aクラス83.3点、Bクラス86.5点、Cクラス83.5点、Dクラス88.3点であった。2クラスずつの受講であるが、A Bクラス、C Dクラスの平均点の差はほとんどなく(1点)、日常的にどのクラスも熱心且つ意欲的に学びを深めようとする態度が表れていたと思われる。但し、個々の差は大きく、再試受講の学生が、Aクラスー1名、Bクラスー2名、Cクラスー1名の計4名で、いずれも保育に必要な文言やその意味を理解できていなかった。再試と同時に改めて個別指導を行った。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、「専門教育科目」における「保育の内容・方法に関する科目」に位置づけられており、保育士資格、幼稚園教諭免許取得の必須科目である。受講生は、1年生であるが、いずれも免許・資格を取得する目的を持っているため、比較的受講意欲は高い。テキストに沿って授業を進めたが、保育実践での子どもの姿や保育者の援助など具体的事例を入れたり、子どもの背景にある社会の動きや状況、保育者の社会的役割などについても資料を交えて授業の中に入れることで、受講意欲も高くなってきたと思われる。ゆえに、内容的妥当性には問題はないと思われる。しかし次年度は、2018年度(平成30年度)に施行される保育所保育指針、幼稚園教育要領の改訂を見越した内容、カリキュラムの工夫が必要であると考えている。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に
お示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、
インターネット利用」学生の意見など

1年生の前期ということもあり、保育にかかわる文言や小学校以降の教育と異なる「保育」の考え方等、初めて学ぶことが多いため、前週のふりかえり→内容の板書→学生にはノートへの書き取りの促しを授業の初めに行い、次章に進むという繰り返しの方法でテキストでの学びを深められるようにした。授業の中では、理論だけに留まらないように、保育における子どもの姿、子どもと保育者の応答関係、環境構成等を出来る限り具体的実践事例を入れるようにした。学生の授業評価では、この「具体的事例がとてもわかりやすかった。」との意見が述べられている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、おおむね授業目標は達成できたと思われる。今後は、勉学に対して苦手意識のある学生に対して、やる気を引き出せるような働きかけを工夫していきたいと考えている。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	保育科
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容「健康」	1	前期	選択	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、入学直後であり、まだ保育について何も学んでいない状況で開講されている科目であるため、今年度も可能な限り実際に体験したり、遊具に触れたりしながら学べるように授業計画を立てた。昨年度は、教材を通して理解を深めるという方向性に変更し、前半の講義内容とリンクしやすい授業の内容に変更したが、教材自作ったことがない学生達であったため、教材の質が悪かった。そのため、今年度は、全ての学生が同じ教材を作成することにし、色の塗り方等の基本的なことを教員も一緒にすることで手本を示し、質の確保を図った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、前半を知識をまとめるための講義・演習、後半を教材作り、の構成で展開した。前半の知識の整理ができていないかを小テストを実施することで測った。小テストは、2回実施したが、第1回目で100点を獲得した受講生は2名で、平均68.7点であり、第2回目は、100点が3名、平均72点であった。小テストに対する受講生の取り組みとしては、「今まで学修した全ての範囲から小テストおこなう」と伝えているがテスト範囲を絞り込むことを求めたり、学修することよりも点数を手っ取り早く取ろうとする姿勢が濃く見えた。そのため、配布プリントへの書き込み等の授業中の学修態度や授業中の発言等を意識するように授業の中で話し、受講生達に求めた。その結果、小テストは例年に比べると良い方ではないが、授業への取り組み度は積極的であったと振り返る。そのため、上記の評価も「やや達成された」と評価していると考えられる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>入学直後に開講する本科目は、授業評価「学修到達度の自己評価」を見ると、受講生のこれからの専門科目への取り組みに動機づけとなる効果的な位置づけになったと考えられる。1年前期としての内容的妥当性はあるが、科目が十分に理解できているかと言えば、不十分であると思っている。しかし、カリキュラムツリーに示されているように、段階的に他科目を学修することで本科目の内容をさらに深め、統合し、実習で実践する中で本当の意味で目標が達成できると考えているため、今期の時点ではDPおよびCPは、内容的に妥当であると評価している。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

この科目が開講されている時期は、多くの受講生がまだ乳幼児と実際に接したことがなく、イメージがわきにくいいため、できる限り具体的な子どもの様子を写真でしめしながら授業を進めた。また、今年度も、実際にお散歩をする、公園に行って遊具で遊んでみる等の体験を通して、受講生の気づきを中心に講義の内容を深めていくように工夫をした。また、学生達が発言すること奨励し、発言をすることで考える、他者の発表を講評する、等の思考する力を養うことを大切に授業を進めた。昨年度、受講生の授業評価から「小テスト」の負担が大きいことがわかったため、今年度は小テストを2回に減らした。そのため、時間を有効に実践の時間に用いることができた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

自由記載から「授業内容は難しかったけど、先生の授業はとても楽しくて好きでした」という記述があり、学生自身の実感として本科目が「わかった！」という感覚は持ちにくいことが読み取れる。ただし、受講生の課題の完成度等を見る限り、1年前期開講科目としては、ほぼ達成できていると評価できる。しかし、受講生にとっては達成感が実感できにくいことは変化がなかったため、今後は、より具体的に、受講生にとって身近に感じられる内容にブラッシュアップさせていく必要があると思っている。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	保育科
氏名	末成 妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
音楽の基礎	1	前期	選択	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①保育科に入学して間もないこともあり、また必修科目であり資格習得に必要という理由で保育科全員が受講している科目であるゆえに、内容への関心がある生徒がわずか2%である点を鑑みて、この科目の重要性を早期に自覚してもらい、自ら曲を選択し楽譜を読み取り、練習し、保育の現場で生き生きとした音楽活動を展開する基礎的力をつけてほしいと考えた。</p> <p>②そのために単なる楽典用語の理解にとどまらず、鍵盤楽器、リズム楽器と結びつけた音楽の基礎的知識を獲得できる授業展開を心がけ、授業終了後にもできるだけ楽譜に向かい合うためにレポート提出を毎回課した。</p> <p>③レポートの添削をとおして正しい記譜の仕方、移調の原理を学んでもらい歌唱につなげる工夫をした。</p> <p>④「コールユーブンゲン」の10度音程までの課題を勉強する中で、安定したリズムの取り方、音階的でない楽曲の即時的な音高の把握を学び、保育者としての歌唱能力の基礎と保育者に求められる歌唱のありかたを丁寧に示した。そのうえで明るく肯定的な雰囲気の中で自らの声を大切に、お互いに認め合いながら聴き合う態度を養った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①最終的な成績の平均は72点で再試験対象者は0人であった。しかし個人差が大きく、幼いころから個人教授を受けて音楽に親しんでいるものは難なく乗り越えられる課題も、そうでない学生は授業以外にも質問に来ることが多いなど、授業者としてこれからの課題も見えてきた。復習に時間を取られ次の課題が書かれているにもかかわらず手を付けなかったために授業評価では「説明が理解しやすかったか」の問いに「全くそうでない」と「少しそうでないと思う」を合わせると15%にも及ぶので今後の授業計画への課題として受けとめた。</p> <p>②ただし学生が互いに啓発しあい、苦手意識を持つ者も正しく書かれた楽譜の重要性に気づき、歌いやすい調性に移調できる友人の伴奏に自らの声を乗せて、授業終了後に学び合う姿が見られた。</p> <p>③前もってシラバスの記載を確認し、それに沿った学習計画を立てていた学生が2割にも満たなかったのは働きかけの不足を感じ、各授業のはじめに示す「ねらい」については、表現を工夫して示していく必要性を感じた。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は保育科の中の音楽関連科目の中でも「音楽の設計図」ともいえる楽譜と向かい合い、正確に読み取る力を養うことを目的にしている。DP「到達度自己評価」を見ると「まあまあそうだと思う」「かなりそうだと思う」が50%を超えていて、ほとんどの学生が目標達成の気持ちを抱くので、内容的には妥当であったと考える。しかしその中で、否定的な「全くそうだと思う」という3人の学生に配慮する必要性を痛感した。学習準備が整っていない段階で入学してくる学生に、限られた授業数で保育者としての音楽的資質を高める努力がさらに必要である。</p> <p>②自由記述の中でも「楽しく有意義だった」という意見がある反面、「説明を聞いてもわからなかった」という音楽経験の極端に少ない1名の声をすくいあげるには一斉講義の中でのさらなる工夫の必要性を感じた。「学びを深めたいという意欲を持つ」という項目の達成度が比較的高く、今後の自己学習に期待を持てると思う。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価の中で「学生の質問を受け付けそれに答える機会がつけられていた」の項目は3.5で質問にはできるだけ丁寧に答え、例を挙げて説明したり、実際の音で示したりしたが、次の課題に進むと同じつまづきをしてしまう学生もいた。添削して返却した課題をさらに本人がしっかり読み解くのを確認することが必要である。ノートを作らず配布物に書き込むために学習の積み重ねが定着しないこともあるのでこの点は配慮していきたい。「学習量の評価」で、授業の課題以外に学習に取り組まなかった理由に「時間がなかった」「忙しかった」というのが各々1名ずついたが、強く必要と感じれば必ず学習するのだから、これからも意識付けの努力を続けていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

保育科の音楽の基礎となる科目の位置づけから楽典的な基礎的知識の理解という点では概ね達成できた。しかし音楽的経験の極端に少ない学生とそうでない学生の開きが大きく、苦手意識を持つ学生にも楽譜の読み取りの重要性を学び、保育における音楽重要性を理解して意欲を持って自主学習につなげていくにはまだ工夫の余地があると感じた。毎回の授業のねらいを周知させ、考える時間をしっかり設けて、復習課題を充実させることで来年度に改善を行いたい。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	保育科
氏名	植村 和彦

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどものためのピアノ I	1	前期	選択	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>入学時点での学生個人のピアノ演奏技能・経験値に大きな個人差があることを念頭に置いた上で、事前に実施する「ピアノ等の演奏経験に関するアンケート」の記述内容や「春休みの事前対策レッスン（希望制）」の受講状況等も踏まえて、各自の進度や演奏技術の習得状況に合わせた個別指導を行うことの出来る体制を採用している。2年間4期に渡って段階的に演奏技能を習得していくための基礎作りを目的としていることを十分に伝達すると同時に、週に一度の授業時間内だけでなく翌週の授業までの間に、各自で継続的に反復練習を積み重ねることが必要不可欠であるため、毎回の個別指導終了時に次回の授業までに取り組むべき課題点や履修曲目の目安等について出来るだけ明確に指示するよう心がけている。また、特に入学以前のピアノ受講経験がなく、大きな課題に直面したり進捗が遅れたりしている学生が精神的に追い詰められることのないよう、意思の疎通をはかりつつ、少しでも前向きに取り組むことの出来るように助言している。</p> <p>資格取得に関して「こどものためのピアノ I」、「こどものためのピアノ II」、「こどものうたと伴奏法 I」、「こどものうたと伴奏法 II」の全4単位中2単位以上の修得が求められていることを踏まえて、まずは本科目において1単位を修得出来るよう最大限努力すること、またどうしても課題曲の履修が間に合わず当科目の単位修得が出来ない場合でも、次期の「こどものためのピアノ II」において必ず単位を修得出来るよう、自らの計画性と展望を持って受講するよう指導している。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された					やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>達成度評価(成績)に対する平均値は74.7点であった。到達度自己評価を見ると、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」の平均値は3.9点であった。また、課題曲の履修状況と期末の実技試験の評価を総合的に振り返ってみると、本科目の単位を修得した54名に関しては概ね標準的レベルに到達したことが窺えたことから、技能表現に関わる目標については、やや達成されたと言えるのではないかと考えられる。その一方で、当科目の特性上、予め提示した課題曲の履修が間に合わなかった学生は単位を修得出来ず、次期の「こどものためのピアノ II」において残された課題を補填することとしているが、これに該当する学生は38名で受講登録者中41%を占めた。今後、この学生たちにおいても「こどものためのピアノ II」において、出来るだけ早期に当科目の標準的レベルを満たすことの出来るよう留意しつつ、さらに手厚く指導していく必要がある。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性 本科目は在学中の2年間4期に渡って継続的・段階的に進行していく実技系演習科目の導入的な位置にあり、資格取得を目指す上でも出来る限り単位修得して おくことを求めているものである。必要に応じて楽譜の読み方に関する基礎的な学習も採り入れつつ、ピアノ実技受講経験のない初心者でも無理なく基礎から学習を開始出来るように使用教材にも配慮しており、受講者全員が個人差はあってもそれぞれ基礎技能を習得している現状から、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>②DP、行動目標からみた内容的妥当性 学生の技能面では大きな個人差があるが、全6名(専任1名、非常勤5名)の教員体制のもと、受講者一人ひとりの進度に個別に対応しつつも、本科目ではあくまでも演奏技能の基本を習得することを目標としていることを念頭に置き、教育を行っている。また、初心者の学生にとっては一見ハードルの高いように思える課題曲の設定に関しても、4期を見据えた科目であるという特性を踏まえれば概ね妥当であると考えられる。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生個人の現状をよく見極めつつ指導に当たる意識を教員間でも共有することが求められる。また、授業時間以外での自主的な予習・復習に関して言えば、実技系の演習科目であるという特性上、ほとんどの学生が多くの時間を充てて取り組んでいるということが、「学習量の評価」の集計結果からも、また「家でピアノの練習をした」、「朝早く来て（また放課後）練習した」、「自主練習をした」、「先を予習した」といった自由記述からも明らかである。しかし中には、「授業で精一杯」、「課題で手いっぱいだった」といった記述も見られた。保育科の過密な1週間のカリキュラムの中でも効率的な予習・復習を積み重ねていけるように指導・助言していくことが大切であると感じる。

授業の進め方においては、何のためにピアノ演奏技能を身につけようとしているのか、学生自身が目標を見失ってしまうことのないように、今後控えている各種実習に臨む際や、就職後の保育現場での実践を日々意識・想定しながら継続的に学びを深め、技能を高めていけるように、一方的な実技指導に陥ることなく、対話を重ねながら進めていくことが重要であると考え。また、複数の教員で担当する科目であるため、グループ間で進行や指導方針等に過大な格差が生じないように十分配慮し、担当教員間で連携を図りながら進めていくことが求められる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

ピアノ実技科目の導入にあたる本科目の位置づけからみて、個人差はありながらも基礎技能の習得については概ね達成出来たが、上述の授業の進め方や教材設定の在り方においては、引き続き改善の余地があると思われる。受講者の希望・意見も真摯に受け止め、学生がより意欲的かつ主体的に学ぶことのできる授業環境を整えていくことを目的として、さらなる改善策を模索したい。

情報利用の面から見ても、シラバスの活用に関する「この授業を履修する際にシラバスの記載を参考にした」の設問に対して、67名（受講登録者中72.8%）が「参考にしなかった」と回答しているが、たとえ進度に大きな個人差がありシラバスに記載された各回の授業内容の目安通りに全員が進行することが不可能な本科目であっても、達成目標や授業計画の確認作業において受講者全員に大いに活用を促すとともに、引き続き担当教員からの説明と助言を十分に行っていきたいと考える。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	保育科
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどもの運動あそび	1	前期	選択	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は資格取得に必要であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格のいずれかを希望する学生は全員受講している。対象の学生は1年生（前期）であり、子どもの運動あそびやその果たしている役割などは理解していない。今後資格を取得するために、子どもの発達や運動あそびの果たしている役割を理解することは大切であり、安全管理等の知識を得るためには重要な科目であると認識している。授業を進めるにあたっては、学生が子どもの運動あそびを実際に行いながら子どもの発達や運動あそびの発展等を理解できるように、ディスカッションや過去の経験を振り返ることができるような内容を取り入れた。また、今後の実習に生かせるように、授業後に内容をノートにまとめるように指導を行った。運動あそびではあるが、子どもの発達や運動あそびの理解が深まるように資料配布を行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均は89.8点（S-63人、A-24人、B-3人、C-2人）である。ほとんどの学生がSまたはAを取得していることから、目標は達成されたと考えている。Sを取得した学生は、理想的なレベルの見本が示せたり運動あそびの補助ができるようになっていたが、BまたはCの学生は、授業中に達成することができなかったため、授業外等で引き続き個別の指導を行っていく必要があると思われる。授業評価アンケート「学習量の評価」では、苦手なことをできるように練習したという意見や、運動あそびの種類や内容をノートにまとめるという意見が見られた。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門科目」における「保育の表現技術」に位置づけられており、幼稚園教諭免許（選択必修）、保育士資格（選択必修）の科目である。受講学生は資格取得を考えているため、受講の意欲は高い。成績評価をみてもほとんどの学生において現段階での課題は達成されており、内容的には妥当であったと考えられる。授業評価アンケートでは、とても役に立ったという意見や、沢山のあそび方や道具の新しい使い方を教わっているという意見が見られた。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

体育館という環境のため、学生が説明を聞き取りやすいように注目を集めたり、聞き取りやすい環境づくりに努めた。また、教師からの一方的な講義にならないように、グループワークや学生が発言できるような内容で授業を行った。それにより学生が考えて発言・行動する姿が見られたが、発言する学生に偏りが見られるため、すべての学生が発言しやすい環境づくりができるように検討していきたい。授業評価アンケートでは、運動あそびの種類を調べノートのまとめたという意見が見られた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

学生の授業への取り組みや評価結果を見ると、授業の目的は達成されたと考えられる。この授業では学生のみで運動あそびを行うため、実際の子どもの姿と重なることが少ない。今後の実習等で経験や知識が生かされるように、他の授業と繋げて考えられるような授業展開をできるように検討していく。

リフレクションカード 2016年度前期

学科	保育科
氏名	財津 たか子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども文化	1	前期	必修	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>今年度も一年前期の科目ゆえ、学生の子ども及び保育への不安感を極力取り除くため、子ども文化財を通して作る楽しさ、演じる楽しさを体験することを念頭に置いた。教師が具体的教材を用いて学生の前で演じてから学生に課題を示し、後日、学生の発表の場を設けるように配慮した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された			達成された		達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>かなりの学生が、授業を楽しみにしていた。人前での発表、制作、歌唱などを、苦手で嫌だと考えていた学生が、実践体験を重ねるごとに(グループ発表から個人発表などの段階を経て)苦手意識を克服した。課題・提出物の多い内容であったが、全体的に学生たちは誠実にこなしていた。小課題の記述からも、保育分野への意欲が徐々に高まる様子が見られた。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>子ども文化財を通して学生自身が幼いころを思い起こし、子どもや保育について興味・関心を持つための手がかりとしてなら、一年前期の設定は妥当であると思う。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

今年度は一クラス単位の授業であったため、学生一人一人の様子を見ながらゆっくり進めることができ、学生参加の授業ができた。一年の前期は他科目の課題も多く忙しい学生たちなので、授業の課題だけで良しとしてシラバスを作成していたが、授業だけで終わりとせず、自主的にいろいろ工夫する学生もいた。逆に課題以外の学習がわからないという学生の声もあり、今後それらの学生への配慮（もっと詳しく学習方法を説明・指導する）が必要と感じた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

前年度も記したが、「学生の生活面での体験不足」との思いがある。ある意味、生活環境の変化からくる必然かもしれないが、従来、当然培われて来ている筈の創造力や想像力の欠如を、学生たちに感じる。学生自身が自分の身体・五感を使って仲間と共に活動する体験を、授業中に実践する必要性を痛感する。子どもの遊びが子どもの全陶冶に関わるものとして「子ども文化」をとらえるならば、「表現（造形や音楽）」を学んでから「子ども文化」の学びに入るのが望ましい。